

第73回 光波センシング技術研究会講演会 論文募集案内

主催 応用物理学会・光波センシング技術研究会
共催 日本光学会フォトンクス情報システム産学連携専門委員会
協賛 光ファイバセンシング振興協会、
(予定)電子情報通信学会 通信ソサイエティ/エレクトロニクスソサイエティ、
電気学会、情報処理学会、精密工学会、映像情報メディア学会、
応用物理学会フォトンクス分科会、日本光学会、計測自動制御学会、
日本分光学会、日本オプトメカトロニクス協会、
日本光学会光エレクトロニクス産学連携専門委員会
IEEE Oceanic Engineering Society Japan Chapter、IEEE Photonics Society Tokyo
Section Chapter

応募締切 2025 年 9 月 26 日 (金)
開催日 2025 年 12 月 4 日 (木) ～ 5 日 (金)

趣旨と内容

「分布型音響センサ(DAS)による社会インフラの見える化と防災」

本研究会は 1988 年に応用物理学会の研究会として発足し、光波センシングの基礎、応用、実用化を中心とした光工学技術の発展を目指し活動を行ってきました。第73回研究会では「分布型音響センサ(DAS)による社会インフラの見える化と防災」をテーマにとりあげます。

高度経済成長期以降に集中的に整備されたインフラが今後一斉に老朽化する一方で、気候変動の影響により気象災害は激甚化・頻発化しています。これらの災害から私たちのいのちと暮らしを守るため、インフラやその土台となる地盤の状態を把握し、防災・減災につなげることが重要です。近年、光ファイバを通信だけでなくセンシング媒体として活用する光ファイバセンシングが注目され、特に光ファイバ周囲の振動を分布的にセンシング可能な分布型音響センサ(DAS:Distributed Acoustic Sensing)の研究開発が盛んに進められています。第73回研究会では DAS を中心とする光ファイバセンシングの第一線の専門家をお招きし、通信用を含めた様々な場所に設置された光ファイバによる DAS の研究開発動向と将来の防災分野への活用の可能性について講演いただきます。

一般講演論文は上記趣旨に関連する話題のみならず、光波センシングの広い分野に関係する論文を募集します。奮って、ご応募ください。

●日程 2025 年 12 月 4 日 (木) [講演終了後に意見交換会]
12 月 5 日 (金)

●会場 東京理科大学 神楽坂キャンパス 森戸記念館
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4 丁目 2 番 2 号
JR 総武線飯田橋駅西口、地下鉄有楽町線、東西線、南北線飯田橋駅 B3 出口より徒歩 6 分
大江戸線牛込神楽坂駅 A3 出口より徒歩 3 分
https://www.rs.tus.ac.jp/jsmpem22/access_morito.pdf

●参加費(税込)

	講演会	意見交換会
応物会員・共催、 協賛団体会員	15,000 円(税込)	5,000 円
一般非会員	30,000 円(税込)	5,000 円
学生・シニア会員	8,000 円(税込)	無料

* 支払い方法: クレジットカードのみ

●申し込み先

LST 73 案内ページ <https://annex.jsap.or.jp/kohasensing/meeting.html> より参加登録フォームへ
進みお手続きください

●投稿申込・参加登録に関してのお問い合わせ

LST 73 事務局 lst@adthree.net

★ 講演論文の別刷 3,000 円/件、論文集のバックナンバー(第 51～69 回)を 6,000 円/冊、第 1 回 から第 50 回までの講演論文を収録した DVD を 8,000 円/枚 にて頒布しています。[lst\(@\)adthree.net](mailto:lst(@)adthree.net) までお問い合わせください。